

受 験 番 号					

氏 名	

2018 (平成30) 年度
放送大学大学院修士課程
文化科学研究科 文化科学専攻
臨床心理学プログラム
筆記試験問題

試験日：2017 (平成29) 年10月7日 (土)

試験時間：9時30分～11時30分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この試験問題冊子は開かないでください。
2. 解答には、黒鉛筆かシャープペンシルを使用してください。
3. 配付されるものは、「試験問題冊子1冊」、「解答用紙5枚」及び「下書き用紙5枚」です。追加配付はしません。
4. 試験開始の合図の後、試験問題冊子を確認してください。試験問題冊子は、表紙、白紙、問題(1頁)の順に綴じられています。試験問題冊子を綴じているホッチキス針をはずしたり、中身を破り取ったりしてはいけません。試験問題冊子または解答用紙に落丁・過不足のある場合、あるいは印刷が不鮮明な場合には、手を挙げて試験監督員の指示に従ってください。
5. 試験問題冊子の所定欄に、受験番号及び氏名を記入してください。
6. 解答用紙は、「大問題(試験問題冊子に第1問、第2問…と表示されています。)」ごとに使用し、解答用紙の所定欄に、プログラム名、氏名、受験番号並びに「大問題」番号及び「大問題」ごとに何枚目であるかを、解答用紙別に必ず記入してください。
小問題及び選択問題を解答する際の番号の記入箇所は、解答用紙のマス目の外としてください。
7. 解答用紙1枚につき、800字まで記入することができます。解答用紙5枚のうち、臨床心理学プログラムは5枚以内で解答してください。指定された字数を超えないよう、注意して解答してください。
8. 試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙を持ち帰ってはいけません。
9. 試験問題冊子は試験終了後に回収します。試験問題冊子に解答を記入しても採点の対象にはなりませんので、必ず解答用紙に解答を記入してください。
10. 試験時間は2時間です。試験開始後40分を経過した後は、試験問題冊子及び解答用紙を試験監督員に提出した上で退室してもかまいません。ただし、試験終了5分前以降は退室できません。

臨床心理学プログラム 筆記試験問題

以下の5問について、それぞれ600字以内で答えなさい(アルファベットは大文字でも小文字でも2字で1マスとする)。なお、解答用紙は各問1枚を使用し、解答用紙の所定欄に問題番号を記入すること。(解答用紙は1ページに800字記入できるので、十分に注意すること。あらかじめ、600字のあたりで、線を引いておくと良い)

第1問

心理臨床における心理検査の役割を述べ、心理検査の中の人格検査を大別した際の3つの種類をあげ、それぞれの長短所を簡潔にまとめなさい。

第2問

系統的脱感作法について、現実脱感作法と共に説明しなさい。

第3問

ある中学校でいじめ事案が発覚し、スクールカウンセラーが被害者・加害者のカウンセリング、保護者や担任教諭のコンサルテーション、クラスでの心理教育などにかかわって、解決に至ったケースをひとつ創作し、そのケースでは有効だったと考えられる要因について述べよ。

第4問

事例研究法は臨床心理学の研究法として重要であるが、それはどのような理由によるのか。また、私たちはどのようなことに留意しながら、この研究をおこなうべきか。臨床心理学という学問の特徴と関連づけながら論じなさい。

第5問

Psychological First Aid について、その目的と援助の方法など、簡潔に説明しなさい。